

珍しい品種をたくさん栽培され、農産物直売所のお客様に「今日はどんなものがあるか楽しみ。」と言われる北田栄次さん。自然に囲まれた広大な畑でお話を聞いてきました。

箕面市下止々呂美 北田 栄次さん

キタダ エイジ

珍しい品種を作る理由

「若い人の口に合うような野菜や、サラダなどの簡単な調理で手軽に食べられる野菜を選んで栽培しています。」栽培品目は60種類以上。その中には、多数の珍しい野菜も含まれ、青汁の原料として有名なケールやサラダで食べられるルッコラ、辛いことで有名なハバネロや韓国唐辛子、ハーブや切り花なども栽培。

6月に出荷される野菜の一つ、獨特な香りを持つコリアンダー（パクチー）は、サラダやカレー、汁物に入れて吃るのがオススメ。根の香りが豊かなので根付のまま出荷するのがこだわりだ。

喜んでもらうために、
手間を惜しまない。

大工の棟梁をしていたこともあり、チエーンソーの技術は一級品。自ら、木を伐採しシイタケ用の原木も調達する。また、箕面市止々呂美地域は広大な自然に囲まれ、鹿やイノシシの被害が多い。北田さんは畠の鳥獣被害対策として、立派な柵を自身で建てたりとこれまでの経験を活かして自然な環境でもされる。

建築士や施工士の 資格も持つエキスパート

代々農業を営み、幼い頃から農業を手伝い、学生時代は農業を専門にする学校に通っていました。卒業後は建築関係の修業をし、26歳で自身の工務店を開いた。建築士、施工士の資格を持ち設計図もフリー手帳で書ける。約10年前に本格的に野菜作りを始め、1年前に工務店の代表を息子さんに譲った。

北田さんの栽培方法は、食べてもう人に安心してもらうべく、化学肥料や農薬は使わな

北田さんのモットーは人に喜んでもらうこと。その為、箕面市内の園児などにカブトムシの幼虫をあげたり、小学生の前で農業についての講義をするなどのボランティアもしている。野菜作りでは、美味しいと言つてもらえるために手間を惜しまない。「手抜きをして育てた野菜はばれます。だから、手間を惜しまずには美味しいと思ってもらえるように栽培することが重要。食べる人の事を思つて栽培し、朝採れ新鮮野菜の出荷にこだわっています。」

北田さんの畠には
農薬や化学肥料を使わず
元気に育った野菜たちが沢山♪



一面に広がるニンニク畠。
5月～6月が出荷最盛期。今年
の出来はとってもいいそう。
是非ご賞味あれ。



この苗はジャガイモの若葉です。
6月にはメークイン・男爵・きたあかりなどのジャガ
イモが立派に育ち出荷開始です。※写真撮影時4月中旬

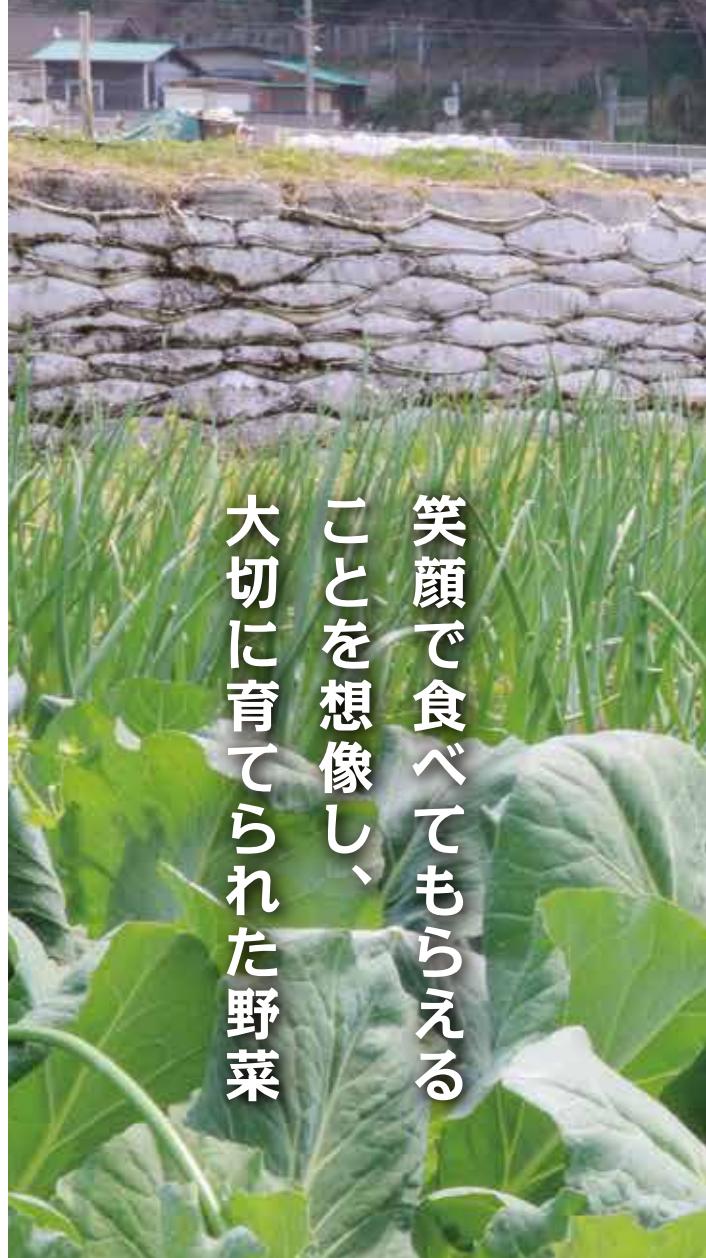


青汁で有名なケール。
栄養満点ケールは葉が
平らなものとギザギザ
なものがあるそう。
腐葉土を豊富に使用し
て栽培されたケールは
味が濃く栄養満点。

他にも、6月には夏野菜のトマトやナス、ほのかに
ゴマの香りがし、お浸しなどにもオススメなルッ
コラ、煮ても炊いても美味しい春大根、独特の香
りのコリアンダー、空に向かって生えるそらまめ、
エンドウ豆等様々な野菜が出荷されます。



笑顔で食べてもらえる
ことを想像し、
大切に育てられた野菜



い。生チップ(樹木)などを寝か
せて作った自家製堆肥や米ぬ
か、腐葉土を多量に使い、土に
こだわった栽培で、虫などの駆
除には、お酢を薄めて作った天
然の殺虫剤を使用している。だ
から、北田さんの作った野菜は
味が良く、消費者から「北田さ
んの野菜は全然違う。スーパー
で買う野菜より新鮮で美味しい
い」と言われることが多い。そ
んな、大切に育てた野菜を家族
やお孫さんに「美味しい」と喜ん
でもらえることが嬉しく、さら
に栽培品種が増えていくそう。

農業は好きですかという問
いに對して「農業が好きです。
だからこそ、どんどん栽培品
種が増えます。これからも、美
味しい野菜を作つて皆さんに
喜んで食べてもらいたいで
す。」という北田さん。今後は
ハウス栽培も挑戦されるの
で、新しく建てたハウスで栽
培された野菜も注目。これか
らも美味しい野菜を作り続け
て欲しいですね。

農業は好きです。